



お江戸舟遊び瓦版 1093号

水彩都市江東 心ころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

「若者に不戦非核の願いを引き継ぐ集い」

日時：25年4月6日（日）10時～12時

所：東京ボランティア・市民活動センター（TVAC）

開会の辞：恩田芙美

- ・ 恒久平和と命の尊厳を柱に活動し、次世代の人たちに継承する場を立上げるため呼び掛けた。

来賓挨拶：永田浩三（元武蔵大学教授）

- ・ 共創未来塾発足を期待している。
- ・ 私の母は、爆心地から800mで被爆した。NHK入局後は、被爆2世として第5福竜丸記念館や高木仁三郎の脱原発に共鳴し、関連取材も多かった。オープンハイマーや大石又七氏にも取材した。
- ・ 学生は広島資料館の最初の展示で動けなくなる人も多く、若い人へのバックアップが必要だ。



体験を語り継ぐ

1. 二瓶治代（東京大空襲・戦災資料センター語り部）

- ・ 8歳の時に亀戸で被災した。国民学校2年生だった。
- ・ 日本は第1次大戦で得た領地を取られないために満州事変・日中戦争と余りに酷いことをやった。
- ・ アジア太平洋戦争の末期、グアム、テニアン、サイパンを失い、本土は空襲が続く中、メディアが勝ち続けを報道し、国民は勝ち続けていると思われていた。人間から言葉が失われていた。
- ・ 東京は、中島飛行場の空襲から始まるも東部の人は知らなかった。銀座の真ん中に空襲が行われ、人々は勝ちを疑い始めた。2月の雪の日に大空襲があった。
- ・ アメリカは軍需工場が対象というが、商店も工場地帯も木造の家も爆撃し、住民はその中を逃げて逃げた。私は縁故疎開も集団疎開もできず亀戸だった。
- ・ 3月8日、集団疎開の人が戻ってきた。男の子は軍人教育で名誉の死に方を教えられ、女の子は従軍看護婦への憧れを教えられてきた。
- ・ 3月9日子供たちは遊びから家に帰り、暗い部屋に5人家族。18時に警戒警報が鳴り大切なものをリュックに入れて防空壕に。壕には防空法のため男の父は入れなかった。遅くなり、父が防空壕から出ると叫んだので、出ると周辺は火の海だった。火の中で、子供は飛ばされた。京葉道路をよじ登り、自分の家が燃えていくのを見ていた。消防団が必死で活動するも消えなかった。ホースを持った消防士が倒れていった。

- ・ 砂町では、馬が火におぼれて、逃げずに焼かれていった。父の手をしっかり握っていたが、気が付いたら父も誰もいなかった。男の人が俺は日本人だ、こんな所で死ぬるか。

まとめ：戦争は始まったら止められない。その前に止めるしかない。創造力を高め、言葉で解決すべきと痛感する。

平田道正（広島原爆の語り部、元被団協事務局次長）

- ・ 私は爆心地から5kmの地に縁故疎開だったが、原爆落下時には2.1kmの自宅で被爆した。私の核兵器に対する活動は、隠れ被爆者だった先輩の活動を見習い、定年前から地元で活動をはじめた。被爆者運動から始め、米・英・独・NZ・イスラエルなど国内外で核兵器廃絶を訴え、被爆証言を行ってきた。5万人以上のNYの高校生を対象にした核軍縮教育を行っていたNGO Hibakusha Storiesに加わり、ピースボートの地球大学の水先案内人として、船上や寄港各地で証言とともにシンポジウムなどに参加してきた。
- ・ 原爆投下時、周辺の防空壕はウサギ小屋並みの貧しいもので、最初に光を感じ7～8分後に爆風が襲い、防空壕も人びとも吹き飛ばされた。



広島核兵器と東京大空襲の比較

	広島	東京
死者数	14 万人	10 万人
空襲	1 回	106 回
飛来機	1 機	300 機
火事	12 時間後	即発生
被害の 継続性	80 年後も ガンが発生 する	

広島原爆と東京大空襲の差は、広島が一回の空襲に対し、東京は 106 回もの凄まじいものだ。注目すべき違いは広島原爆の被害が 80 年後の現在にも及んでいることだ。

核兵器の現状は、広島型の 10～1000 倍の威力の核兵器 9583 発が、いつでも使える状況にある。各国は核軍拡を進めており露中北朝鮮が積極的だ。残念ながら日本は米の核の傘の中にいる。ヨーロッパ、アメリカの国民が核の恐怖を感じており、被団協のノーベル平和賞に結び付いた。狂ったリーダーがいれば一発でこの世は終る！決して核兵器は使用してはならない。

報告

1. 沖村民雄(東京高校生平和ゼミナール)

- 核兵器廃絶・戦争のない世界を創ろうと 1981 年にスタートした。
- 核兵器禁止条約に日本が批准するよう 2.3 万筆の署名を政府に提出した。
- 2 つの大きな壁：①学校の介入、②核抑止論
- 高校生平和のつどい：6/8 明治大学

2. 奥田豊己(アジア平和資料室) [アジア平和資料室ホームページ](#)

- アジア・太平洋戦争における日本の戦没学生を中心に、彼我あらゆる戦争犠牲者にかんする資料(遺稿・遺品などの原資料、活字・映像資料その他)を広く展示している。
- 最近若い人が戦歴を知ろうと増えてきている。

参加者からの一言 司会：伴敏子(世話人)

西倉勝(平和記念館語り部)：20 年 1 月 15 日に赤紙が来て軍隊に入った。戦争は絶対ダメ！

穂坂(非核・平和を進める西東京市民の会)：先日、田中照美さんを招いて 750 人の会を開催した。

K：N テレの科学番組に出演している。考え方に共感し参加した。中央大で平和学を学んでいる。

中島(明治大学生)：大学で平和の会を行っている。YouTube で発信している。

閉会挨拶：上蔵博(共創未来塾代表)

- 気持ちは若い、93 歳になった。若い人が参加できる平和学習の場を立ち上げたいと声を掛けたら、こんなに沢山の方々が集まってくれた。終戦 80 年の今年は平和学習と映画祭を行いたい。
- 深川 9 条の会等と協力し、発足することができた。世界に誇れる日本を皆で創りたい。

交流の場・これからどうする

N：江東区に住み、日本軍の加害行動に注目している。

Ns：シベリアで 3 年抑留されていた。ZOOM で高校生 200 人と交流し、生き甲斐になっている。

B：平和運動や江古田映画祭等に参加している。

O：若い人にどう繋ぐか、引き出せるイベントを続けたい。

M：父は医学生時に広島原爆調査に参加している。

O：戦争時、軍は本土では戦わず、少年兵ばかりが闘った。

U：呉で生まれ、足立区で育った。終戦時、女性は黒く塗っていた。米兵は優しかった。戦争は話合で止めるべき。

H：2000 年頃から外人を中心に話してきた。

K：本所生まれの本所育ち。終戦前は中学 1 年生で、勤労奉仕の工事作業員だった。

所感：アメリカトランプの暴走の中、中露も世界支配を進めたい世界激動の時代を迎えている。

情熱一杯の上蔵さんの想いに引っ張られ、若者に引き継ぐ“共創未来塾”がスタートした。

若い方が中心に、戦争のない非核・平和日本の学びの場になることを祈念したい。(文責 中瀬)

核兵器の特徴

(東京大空襲・通常兵器と比較して)

- 核兵器の被害範囲の広さ・死者数の多さ
- 核兵器の被害の種類の方多さと同時に発生

① 熱線(火傷・火災) ⇒ 東京大空襲は焼夷弾のみで火災発生

② 爆風(骨折・倒壊)

③ 放射線(放射能障害)…新しい被害

- 被害の継続性 被爆 80 年後でも発生

核兵器の現状

広島型の 10～1000 倍の威力の核兵器が、9583 発いつでも使える状態にある。

性能をアップすることで、数を減らしている米国を除き、各国は核軍拡を進めており、特に、露・中・北朝鮮が積極的である。

